

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月6日
東

上場会社名 株式会社メディカルシステムネットワーク 上場取引所
コード番号 4350 URL <https://www.msnw.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 稲雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 平島 英治 (TEL) 011-613-7750
経理財務本部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	86,175	5.2	5,406	19.5	3,069	30.9	3,044	21.8	1,693	41.7
2023年3月期第3四半期	81,878	2.5	4,525	△12.5	2,344	△23.5	2,499	△28.3	1,195	△44.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,730百万円(40.0%) 2023年3月期第3四半期 1,235百万円(△42.7%)

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	56.11	—	—	—
2023年3月期第3四半期	39.60	—	—	—

(注) 1株当たり四半期純利益の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
2024年3月期第3四半期	67,503	—	15,607	—	23.1	515.66	—	
2023年3月期	66,223	—	14,488	—	21.8	478.86	—	

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 15,561百万円 2023年3月期 14,451百万円

(注) 自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円	円	円	円	円
2024年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2024年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	113,800	3.9	6,600	7.8	3,500	10.6	3,450	2.8	1,650	2.4	円
											銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	30,642,600株	2023年3月期	30,642,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	464,055株	2023年3月期	464,055株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	30,178,545株	2023年3月期3Q	30,178,545株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期連結貸借対照表には、役員株式給付信託(BBT)の信託財産として、株式給付信託が保有する当社株式が「自己株式」として計上されております。また、1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産、自己資本、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定については、上記の役員株式給付信託(BBT)の当社株式を自己株式に含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、地域薬局部門において地域支援体制加算の経過措置終了等の影響により処方箋単価は下落したものの、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う受診不安の軽減や複数の呼吸器感染症の流行、及びLINEを用いた処方箋送信機能等のDX活用や服薬期間中のフォロー等の効果もあり、処方箋応需枚数は増加いたしました。また、医薬品ネットワーク部門において、閉局やM&A等による脱退の影響を受け、純増件数は計画を下回りましたが、既存加盟店の仕入れが増加したため、医薬品取扱高は概ね計画通りとなりました。経費面におきましても、全社的に生産性の向上に努め、各種経費のコントロールを行いました。以上の結果、売上高は86,175百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益3,069百万円（同30.9%増）、経常利益3,044百万円（同21.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,693百万円（同41.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

また、第1四半期連結会計期間より、賃貸・設備関連事業で計上していた開発営業部の費用については、当社地域薬局の開発に特化することとしたため、地域薬局ネットワーク事業へ振り替えております（当第3四半期連結累計期間の振り替え額は110百万円）。

①地域薬局ネットワーク事業

本事業に関しましては、医薬品サプライチェーン全体に対する価値の提供を推進することを目指し、地域薬局の運営、医薬品ネットワークによる薬局等の経営支援、医薬品の製造販売及びLINEを活用したかかりつけ薬局化支援を行っております。

地域薬局部門におきましては、地域支援体制加算の経過措置終了等の影響により処方箋単価は下落したものの、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う受診不安の軽減や複数の呼吸器感染症の流行、及びLINEを用いた処方箋送信機能等のDX活用や服薬期間中のフォロー等の効果もあり、処方箋応需枚数は増加いたしました。また、当第3四半期連結累計期間において、モール型店舗4店舗を含む、地域薬局9店舗、ドラッグストア1店舗を新規出店し、M&Aにより地域薬局3店舗を取得する一方、4店舗の閉鎖及び事業譲渡を行いました。2023年12月31日現在の店舗数は、地域薬局436店舗、ケアプランセンター1店舗、コスメ・ドラッグストア10店舗となりました。

医薬品ネットワーク部門におきましては、閉局やM&A等による脱退の影響を受け、純増件数は計画を下回りましたが、既存加盟店の仕入れが増加したため、医薬品取扱高は概ね計画通りとなりました。2023年12月31日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、当社グループ436件、一般加盟店9,067件の合計9,503件（前連結会計年度末比591件増）となりました。

医薬品製造販売部門におきましては、2023年12月31日現在、48成分101品目を販売しております。出荷調整の影響により受注を停止している品目があるものの、当第3四半期における新規取引店舗数は順調に推移し、2023年12月31日現在の取引店舗数は、前年同期比847店増の4,414店舗となりました。

デジタルシフト部門におきましては、2023年12月31日現在の導入店舗数は、4,445店舗（前連結会計年度末比1,054店増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は82,105百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益4,965百万円（同15.5%増）となりました。

②賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、管理物件における管理収入が概ね堅調に推移したことや、建築業務における受注案件が増加したこと等により、売上高は2,560百万円（前年同期比4.6%増）となりました。利益面につきましては、賃貸・設備関連事業で計上していた開発営業部の費用について、当社地域薬局の開発に特化することとしたため、地域薬局ネットワーク事業へ振り替えたことや、サービス付き高齢者向け住宅ウィステリアにおいて人員配置と広告宣伝費を見直したこと等により、営業利益129百万円（前年同期は営業損失97百万円）となりました。

なお、サービス付き高齢者向け住宅の2023年12月31日現在の入居状況につきましては、「ウィステリア千里中央」は全82戸中51戸（入居率62.2%）、「ウィステリア南1条」は全116戸中88戸（入居率75.9%）、全5棟の入居率は83.3%となりました。入居者ニーズの見直しや新たな営業ルートの開拓に注力し、引き続き、積極的な営

業活動を行ってまいります。

③給食事業

本事業に関しましては、契約単価の見直し等により売上高は増加したものの、仕入価格上昇に伴う売上総利益率の低下等により、売上高は1,781百万円（前年同期比4.7%増）、営業損失24百万円（前年同期は営業損失55百万円）となりました。

④その他事業

本事業に関しましては、訪問看護事業を行っております。訪問件数は増加したものの、人員の増員に伴う費用が先行していること等から、売上高は237百万円（前年同期比3.6%増）、営業損失30百万円（前年同期は営業損失14百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は67,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,279百万円増加しました。流動資産は21,024百万円となり、前連結会計年度末に比べ758百万円の増加となりました。主な要因は、商品が増加したことによるものであります。固定資産は46,479百万円となり、前連結会計年度末に比べ521百万円の増加となりました。主な要因は、有形固定資産のその他（純額）に含まれるリース資産（純額）が増加したことによるものであります。

負債の部は51,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ160百万円の増加となりました。流動負債は23,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,386百万円の増加となりました。主な要因は、買掛金が増加したことによるものであります。固定負債は28,159百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,226百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

また、純資産の部においては、15,607百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,118百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月7日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,141	8,536
売掛金	3,437	3,198
債権売却未収入金	1,039	1,085
調剤報酬等購入債権	463	452
商品	5,160	6,350
原材料	17	20
仕掛品	2	8
貯蔵品	74	78
その他	1,939	1,305
貸倒引当金	△11	△13
流動資産合計	20,265	21,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,164	13,185
土地	8,916	9,139
建設仮勘定	165	313
その他(純額)	4,814	5,520
有形固定資産合計	27,060	28,159
無形固定資産		
のれん	11,183	10,558
ソフトウェア	548	578
その他	74	101
無形固定資産合計	11,807	11,238
投資その他の資産		
投資有価証券	159	174
差入保証金	3,222	3,327
繰延税金資産	2,926	2,788
その他	802	810
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	7,090	7,081
固定資産合計	45,958	46,479
資産合計	66,223	67,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,937	11,911
短期借入金	1,016	1,847
1年内返済予定の長期借入金	5,152	4,703
未払法人税等	600	384
賞与引当金	1,569	836
役員賞与引当金	2	53
その他	3,071	3,999
流動負債合計	21,349	23,736
固定負債		
長期借入金	20,226	17,113
役員退職慰労引当金	637	657
役員株式給付引当金	243	269
退職給付に係る負債	4,157	4,387
その他	5,121	5,731
固定負債合計	30,385	28,159
負債合計	51,735	51,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,128	2,128
資本剰余金	1,182	937
利益剰余金	11,606	12,933
自己株式	△326	△326
株主資本合計	14,590	15,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	8
繰延ヘッジ損益	2	1
退職給付に係る調整累計額	△139	△120
その他の包括利益累計額合計	△139	△110
非支配株主持分	37	45
純資産合計	14,488	15,607
負債純資産合計	66,223	67,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	81,878	86,175
売上原価	47,591	50,292
売上総利益	34,287	35,882
販売費及び一般管理費	31,942	32,813
営業利益	2,344	3,069
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	5
業務受託料	59	46
設備賃貸料	101	106
補助金収入	197	38
雑収入	59	80
営業外収益合計	423	275
営業外費用		
債権売却損	41	44
支払利息	206	221
雑損失	20	34
営業外費用合計	268	300
経常利益	2,499	3,044
特別利益		
固定資産売却益	7	13
事業譲渡益	-	27
特別利益合計	7	41
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	51	15
減損損失	18	5
店舗閉鎖損失	14	6
その他	18	3
特別損失合計	103	31
税金等調整前四半期純利益	2,403	3,054
法人税、住民税及び事業税	855	1,114
法人税等調整額	338	238
法人税等合計	1,194	1,352
四半期純利益	1,209	1,701
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,195	1,693

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,209	1,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	11
繰延ヘッジ損益	6	△1
退職給付に係る調整額	14	19
その他の包括利益合計	26	29
四半期包括利益	1,235	1,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,221	1,722
非支配株主に係る四半期包括利益	14	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	78,061	1,886	1,700	228	81,878	—	81,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	562	0	—	579	△579	—
計	78,078	2,448	1,701	228	82,457	△579	81,878
セグメント利益 又は損失(△)	4,299	△97	△55	△14	4,131	△1,787	2,344

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,787百万円には、セグメント間取引消去235百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,022百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	82,069	2,087	1,780	237	86,175	—	86,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	472	0	—	510	△510	—
計	82,105	2,560	1,781	237	86,685	△510	86,175
セグメント利益 又は損失(△)	4,965	129	△24	△30	5,039	△1,970	3,069

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,970百万円には、セグメント間取引消去208百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,178百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、賃貸・設備関連事業で計上していた開発営業部の費用については、当社地域薬局の開発に特化することとしたため、地域薬局ネットワーク事業へ振り替えております(当第3四半期連結累計期間の振り替え額は110百万円)。